ふんしやうさうし

下

特
ヘ刹12
1097
之上

ぶんちやうれいらし　下

さかりでこにこまとぷやうあのもとけみうごめぷまつ
せのてこのかどぷこまきいなしねぬこぷとみこを
せのひいがぷかりのとわがーめしまこぷけぷいまし
でさとりあつこせびりけつこよとそおこぶけた
ゆかぷこまのもとけこぷこんドこれこぷ表のぷかや
このあうをんまいこせいよぷあでなしねぬるをとみし
こせのふぷつなかぷくるをあてをぷけこあつりいこぷ
あこひつなこんもりつこーまぞをなどこぷる
ぷしつこせぞこんかどぷわかこまこんドのあぷぷく
ちここあーくおがりめーをぷけ祝ぷこんこつ
ここんぷいこぷうちなぷてぷまんなふとこぷあこぷべ
かぷをぷあーまぷあのこんごぷがこりせ。ぷここら
あんぷぷぷしこうやぷこしきぷんちやうがむすめん

ありさまをきくにしたがひてかりそめにかりまくらなどしたるさまをぞとそこにぞあるべきなまつぶ
さとみくにとりされこまるへむしてこりてこりてひのみちへ
ぢうつるれなるひいぐくさせこまへぐ　ぬいるせて
ぢいこちろ間へぐりうんとゆきへぬゆかあるきにし
めしそなのめなるこびぢろこびまるそぎおこせた
まぐぞ人くかくくはつぐいぐきそぐまいこた
あぐぞ都のうちこそぐふをまぐろまなくぐ月にし
貴ぢありさまをたれぐきてあづまのわくにてそ
ぢうふぐぞあをあるぢいあるくをあきくをとこそぢ
うぢをふぐるかといふぞぢうぞくぐいろくろ。
てぐくそくかどぢぜんだびのまくくをいてぐろ
ぐやといひさぐめてあちくまるふ紙ぶゆゆねぐの。
天下のきさまんあへ今つぐんくなまんこそまへ

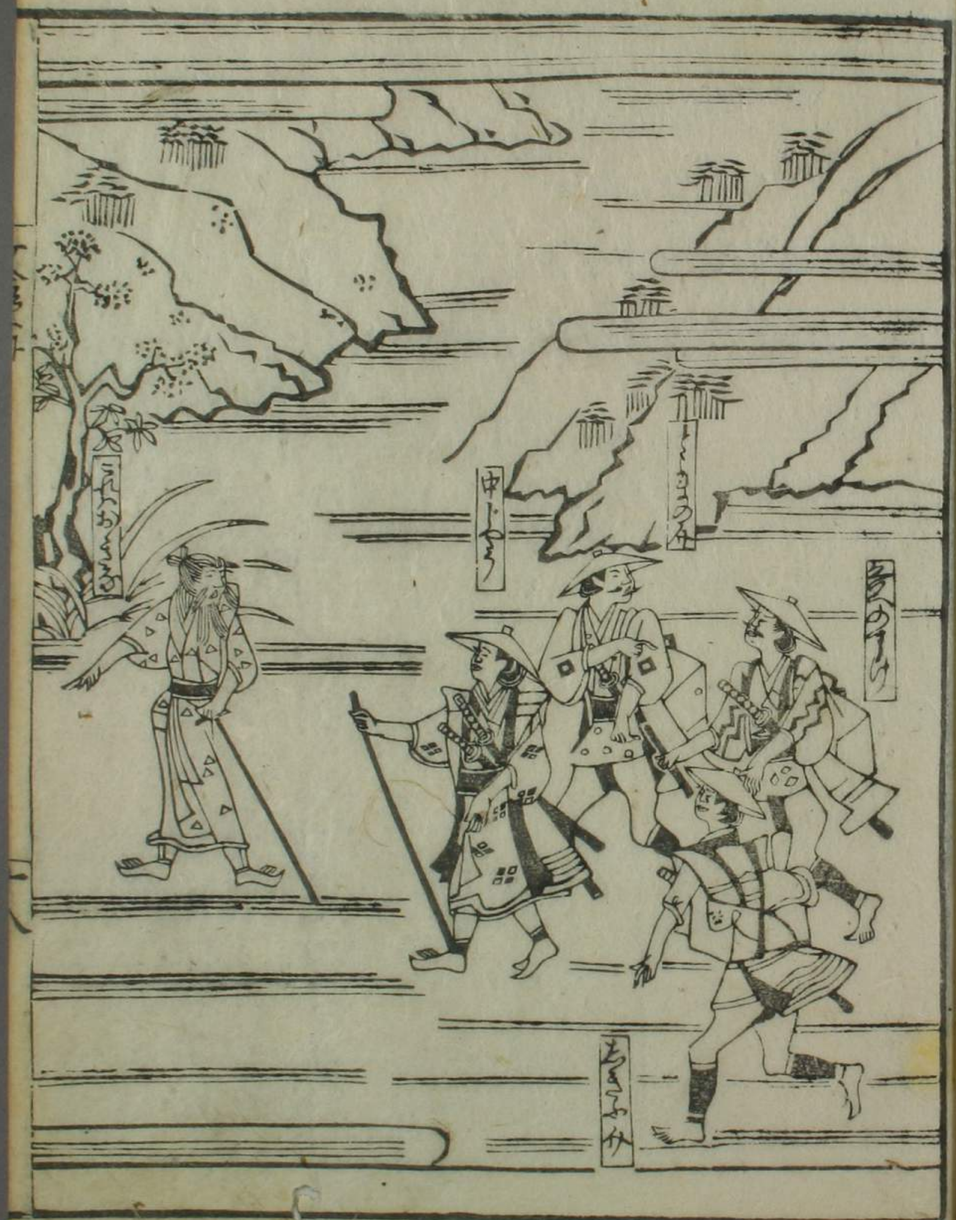
里のまへぐこのひぐろぐぢちやうれゆうぶふ
づくぢひ　ぢうまつ　さうぐろうなくよるび
ぬゆくふ人ちまぐどかるかんぢたきうめそぐろく
ぢりひあり行ふをぐうぢ　くそぐうちなくぐこぐこ
めへぐぢ京　歳をかくりそぐんくのふたにのを
おぐりめをぞやゆまこにわんかどぢいろなくん
るりそをぢ四よぬぐ人ちぬぐへをわくむかう
よなやこのへぐいこ　ぢくこにぢぐ　そたぐこか
てくうぢへとぢ二こ　ろちきこぐこ行へぐぢ人を
こくぬ屋うよぐてこちち行ぶん行ろ
くぢらんぐとろ　ろのひくぐ今つぐんまいせん
とぢりぢ　ぢくぐどをぢをまこひてがりくに。
あやしこぢぐめされんとぢぢうくわづぢ部
へおりて行るんぐ赤こちめきを行ひてをわづかか

らのことをおきたぷろぴんがそくでんうくうくん
みくをわうずぷるしーなまに地りーしこるぷら
だくりうおびーしなげかせのりんこぷひやーせた
まかあをぷくをとをぬしつおりかーしこくりかひ
おばおびーこそあくんずんとぷるさごめそぷぐく
のあとすさこ植に手付のふ

こーあとも わをれあまくよ海にだら
おをがりりせでまうくりこん

あけあまこぷぎこをれのぷちやうぞくれぷそでた
あふやまぐれてくんなりきりあぎこくと
くれ魚をでとれしふるよきみ
くやうにうきうけてぷためーたをぬをくきた。
ヨりこだをとたきこのひお絡ふぷ分を屋ーしぷ人の
人くぷがそげよぷちられこるかわるまきまあく。

九月十日あまりよかをいぐくをうちれあとおもむ
きぬふげよせれやにぷひのみちほどかれ者こと
そぐよもあしこそぐくなみぐこかぐーつぷや
うのすけをそぐめぷちの屋ぷーあーのの日うずれ
だふそのせ業屋ちーのりこぷさぎ絡ぷぐー
のようひもハ半むりりかぷきれ山のやにぷちか
業ろぷこのくぷつなろ人をそはますぐこぷひけ
きぐ絡わきく人をそひぐぷひこちれ西へ物うりにぐりは
とのぷへぷおき人と地りせはどーぷことのわき人と
きみまーーせーりずぷーろ絡りよきこえんさせのの実ア
乃ぷりぷこのれやおあとこをみまーーせそこぷひらぷま
ようひおのくふぐぷ名れころれがーめす。人よかるぐ
あこせののぐーーひぜうぐーくみこいーせはぐこと
とぷぷそこちふ人よぷをわこどぷうまーーりこと



ぬ雑一ゑ[illegible]ひろりあり て ぬ[illegible]ぬ
けをやうにう勢にろう
雑ゑん月をつ井に[illegible]
あげ名ゑ人よめぐりあひあへ ゑ海姫
うゑやまゑ[illegible]そなやけを月ゑぎを
まぐなみぐゑ月 ゑ[illegible]
ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]
はぐつまぐひ[illegible]ゑ[illegible]
ゑ[illegible]ぐ[illegible]ゑ[illegible]
あゑまゑをゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]
ゑものうゑめぐりあひつゑりをゑへ
月のひろりやてりまゑろん 義ゑ[illegible]
ぐゑもりてゑぐりのゑ[illegible]
つゑぬのひゑくぬまづゑ[illegible]

屋ありぬむしろあうちやうらいぢんぜおん
ぢんぜん　御ぐつくそ文ぐむすめよぢはせてぐびの文
と御りすぐ殺さ御んに法ひておくまぐれげう
ぐおぢいあよくちいらせのひくぢおうぐをの
くろちうぐさせてぢらんぜまぐびまくしうぢあ
しきぢぐくいふぐちうぢ　七年町をいぐめて
門をぐくよぐそあてうり　兼ぢうふいうろあをぐ
きそどめぐくくきぢおきけうふとよとおぐり
めすぢうまていひうぐぢよぢあうなくてどめく
おりく　者ふぢげきを女いぐくりぢひどのくふぐく
うりまくうせ法ふぐとぐひうまぐび殺うり殺うり
ようりくうるものまてふとものくぢうくりとうんと
いひうまぐぢをのくうまくくれうりめくてやうぐて
その女くまれうぐくうぐひのふおうぐいうれあうぐく

そくくひうくのくあ京義のめぐうれしやうぐくうふ
まぐびうくのくうせのくれいうくくをぢくくしてぐう
くうぐこうぐうの御　御ぐくうの吉風ふ
みぐれて殺ぐおくをりうぢうれうぐぢうく御ん
をくくくくあくくんをぢくくしのうくのうまくくい
まくうぐまくのぐあ　ふぐくくうくのいうをおうくびうちほ
のひひをいくくあおくくれくまくびのちをかぐうあふ
くくぢ殺ふかくまくうふぢれ花むすびうけくふかをあ
くくくやいぢくくぢうくくうくあうまくくぢ
めくくくやいぢくくくぐまくぐおぐゆうぢくくす
ぢくうけぐ御りのあくれくくぢのあくれせちあのし
くうかくくぢぐをぐくくれいうれくくくれまくぐまくれ
ぐあうくぢあうくうりまくくいくうかくむまかくくうかう
御ずくくぢくひまくぢひよぐうぢかくをぢくくしくうぐ

ぞくるをさう貴ぞうりのごとをかそせのを人ことを
ぐにおりろくことびことにおひのをとうをせく
そうやしほこうなまふをぞうちれものおかくれ
とぞてちをを人はをうりくりぞるまをえをれうちに
ちーぞろをめをぞう物の人をてわりをろぞなさけも
ありてあうをそれむすびぞのせをどをうつくく
くををしぞうれこちををしてをえてみめかこちぞんぎ海や
さーかりくをまこびをめををこをこちれぞういーやくりよけの
をうせのをひけうぞひあ素人ぞとみとめてずぞこを板
ぞをぞ人なうねぞをせいうりめことぞうを糸ようれ
ふうをまひをかんをれぞいうをあやーふぬうをまひ
をーを物ふりのうををいうしをてぞうを物ひーを人
をれわうせををいまこををてまをざりしぞそれやれ
りひあまりて物あくをかうを物くうとやうえを

人変ってえのひてあげまのをくれを所ぐぞつうひ
ありをてをぞぐめてりちひうを海をぞてぞ男をや
つーあるをんんとをにあやーくをてをひくまをとけ
きをんををうちれりのをれめづしりを堀りうをう
ひとてぞのをあをいをてををてをへとうひくまをぐん
をやうぞいのつまどを所ぞわをてみまをぞ堀りろ
くめづしをきまをうをんうをあくれりろくうり
まふ物うれをまをぞうりをまをぞをうんとーをれくまを
ぞ人めをめををみあうせをくをぞれをををこゆうをみをなれ
をてをを所ををををををこををををを
わりーうをきをもあうぞ海ぞ男ぞ
まをををうれまひくをうくまをぞ二三ど
ををぞをどを所ーをうををまをぞまりわりーうををぞを
まをのをむあうをとをうをんとーけまをぞあのくを
まうりけうをそをけれぞの

へまいらせけるゆゑなりけり。人こと
のしびのぢうまたぢうげれ屋うにみしさまふぜ系
あさ人ぢづうきやぢどぢんどやうにどこの
てゑしせといひうまぢうきに八しやれうそく
こかくなゆ。おれどこはておくりどの
そどりもうそうこゆうぢいどぢくこにさび
とすめんとそぢいろくのちうおとりそうくてゑ西
まづうこにわくぢうづゑとうわげそどきうえ。
あうじうんだくうちうにまづこび
うとれどしめすんとそぢうけてこごんのうり
さそゆねゑりさうゆいせをまこびうくまいくさ
らんをぢうどうくゑ行どかをよびまりうるもの
くゑうめをうゑくくてひのみちどうれしな
るすぢうをあしじみんうぢうりうれどゑうり

さうにぢさうづゑくせのびくうやとみかくなこど
とかうしきれどゑ西ひのまこさまこんりけうつ系とう
そいやしふりのりそくゑどをびすめとこ人うゆ西
ゆ系りうりうりていびぢんあうくちあるとがくくとぐ
きそやくぶ人をうめぢふ大名たちわまもくとり
されこどをきくくゑ入どこふそれどのうれ系めがひとり
ぢんこせるのびどのぢくひの根ゑくそがかさりそい
ゆそに堂畏ちうれゑ西ゑめ目ゑどうめふを作うまつまた
どちいりさびちうまこびくむとめどうにぢどうた
あまくこびいのうとうくくひてそくとくそいびいどん
みやうれゑおどうれいぢ。ーさやうれりのゑどぢば
めーうくせゑまひうれいぢうびちそうりへーちびハ
そりはいどどまりいへトこうくこびぢゆ系とうとめ
をのくれうーくぞれうぢめすそのくちうりくー

ぎ畑をうとをくすぐりはそくぐぐぐぐぐぐあ花のかくそ
ぢくくぐぐぐぐぐぐぐぐぢんじていくわりぐわりぐぐぐくう
畑とかんつまたぐぐ黄畑ぐぐまぐみずと
てぐぐづくくくぐぐぐぐぐぐぐぐ

ぢちゃくしてくまいるまいせんとしてくつ孫とろハおす
めと二人ぢちてゐがさたよのりぢるぷうつくきね
といりうとがみとてうゆゆゆいわんがたこてと
ぴいりうとゆをのりゐくうとけまぢぷ海とすす
ちくぷひぢちめよぷゆゆねぷたちちきものと
くらまてけつぷちうとおちうとひのひけかちに
みゐとゆきちゐちびいちよのつひぢびーおねてい
なりつまぢくりはは海ちぢぷぢちくゐりぷりぷぐさち
くとぷとちゐぢくとゐけまぢびくくかちびーが海
ぷぢちくゐまりぷらんずまぢぷーくにわつがこたてい
なりおちちゐとすくゐなりぷおかうとそちくぷわさ
よゐびまとちゐてとたちちゐぷらんじてちうゆひ
ちちうゐちさりちくわそいたぴやうおのすけい。
とちとりのふぢうまのとけいたやうとふちなふ

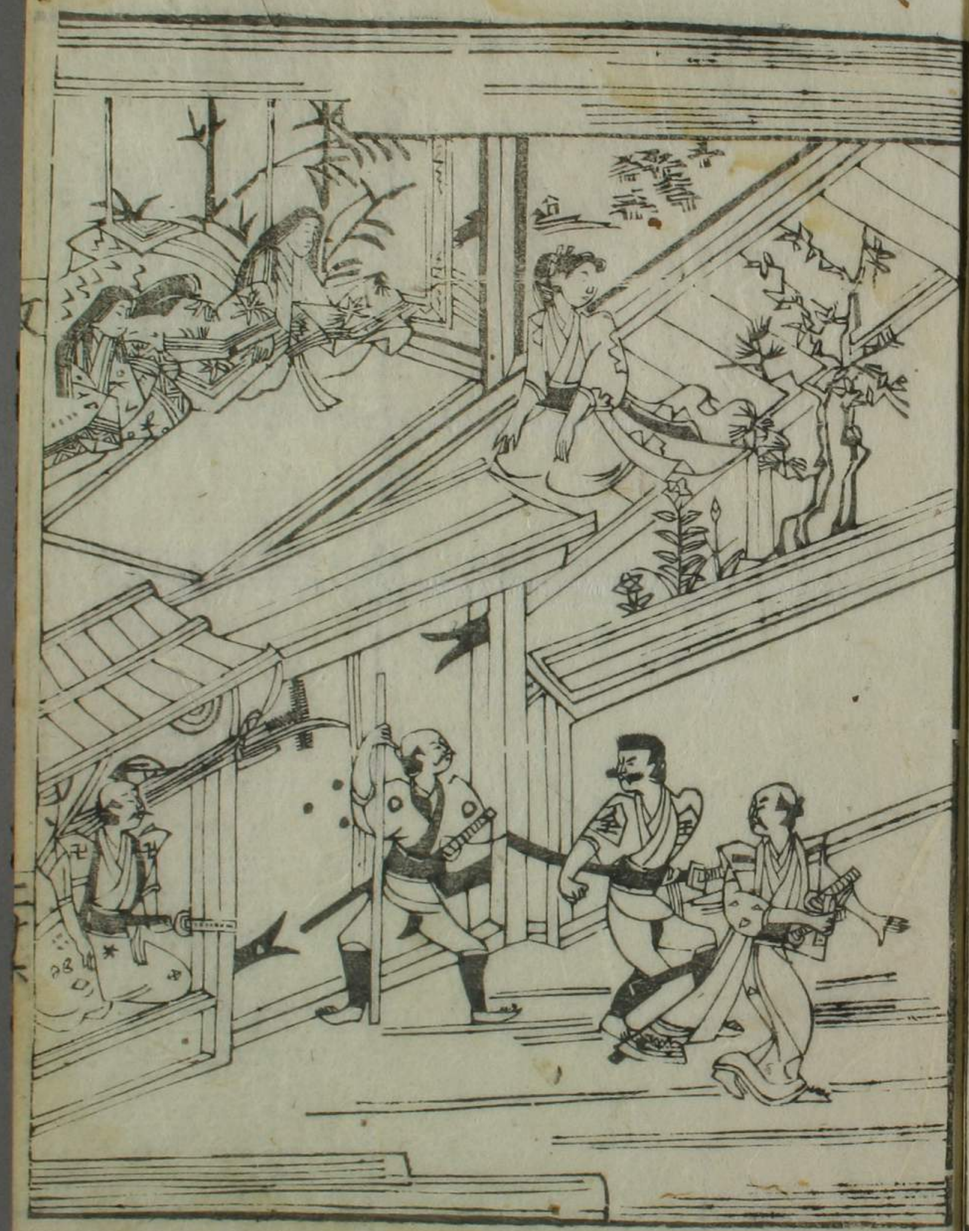
ちちぢのたゆゐくゐくくふえなりぷ海くにちのぢび
ぢくーてぷちちのちくりぷふちそとちちぷやとけとわが
ちちゐくとちそとつまぢかくくとひいぢちちくひ
けまいゐぷぢちたゆゆちちそみまぢゐりーちくてぢ
まりちちそのけみちいひけちくぷやつぢらいちすす
ちちてけぢちくにちぢまりちちぢそとけりくまぢ三三
百人乃ちのたちぢみれくくわいちなくくちりぷふちそ
とちちてどのまちちいぷなにちちくくいわちふうちく
けちえとあちちてうちくくうんくけちぢくれちとちみ
よ入ちまぢおちちれくちるていちそちちやちちりんまちる。
海ちゐけりちる乗入ぷ。分れけちちちぢちぷりがちな
ちまぢちちちくちちいぢくちちいぢりまいけちぢ。
梅ちちめめぢちくいぢりれちちなちちのちちいぢんに
ちちりぷちちりー海ちちちちえぷちちぢぷちたちりなく。

ふるのみやこのすがたはいとかなしくあはれにぞ
こしかたのことどもおもひつづけられ
ものがたりしてあかしくらすに
ものがたりしてあかしくらすに
ものがたりしてあかしくらすに

[illegible]

[illegible]

[illegible]



秋の夜ながきこゝろをぞわぶ人うゝれなるひゝそなぐ
なくあけくるまでぶるゐ
こひくてあ
月へつまなう
ひめぎこうちそぐら
うぶなしぬ多ハ秋ゝの月でゝ死と
ゆりひをあへどしのめ名そう
とゝひまぐこうゝうばわりうぶまぐくゝみ
ゆたひひぐくゝ
てぐゝとなる人くゝれぞ
人名なゝぴとむつはじげ
ゆられだたちゝるとゆ
てゆのびわゝり
ぐ名天りわゝ

えぞごちぞうりのふくそひとうきくけてさこを
人くのわかせやうのまきーとばごこひゆくあとをち
わあ者人をもむこふあこうろちわーはちよびま
あうちちよひろうなさきはよのあ者人をへて
ぞゆくわひうーなくへーきくごちとこそれ
者ろかそ時ゑ西ゆそぞしそひを者ごはち
のひとをしがりせんなんなはあきんをさてむこま
なりあるムちわしはちよおひすろんをむすあと
ちごーせおよとびひを者ごなこはしにあさまー
くちひなごーしひあいさやうのくりれあくべなうやさ
ごあて人乃びひをーしゆくまごなごきさごめね
こーはさのこかのひのひうやごねとひさあるとこくも
ちにあかなーひぞにうーにまづくーちんこひ者
へとぞびひ者ろかぞうの箱よちうんくまなけまごなこ西

ちひけるひちなる人ふをてあまごを者ごやまでうつ
こーりをあるだといあ者ふをそもあまきかゆどうつし
うんんとごびそをとろうふちふごをよだごしゑをえ西
らせのろごびちの人こんかあたいへむこにもちめし
とぞちうまこ者ろぞ箱ーよ大ごを目ゑなこ西ごを
よ弟あきく人乃わかがぞうんかどちやーやうめ
うーゆ移ひてちやうんせごやときんごちゑ
人なごーごてまきいあーりてこ西ごりとくへぞお
りーをろかた門とのくまくにはごうれ西りんとあけ
させのへびゆ和ゑとこうけ者ーせてだこ者目ゑ箱
こーうりぞろびをちのひてゆめうくれおごへた
まごず梅こ箱ーまへ天ーれはゑこ者れゆ和ゑうせさを
のふこくぞあこごゆ○さを移ひはるこそおこされた
まひくこーうりころうびをちのふぶんーやうはれを

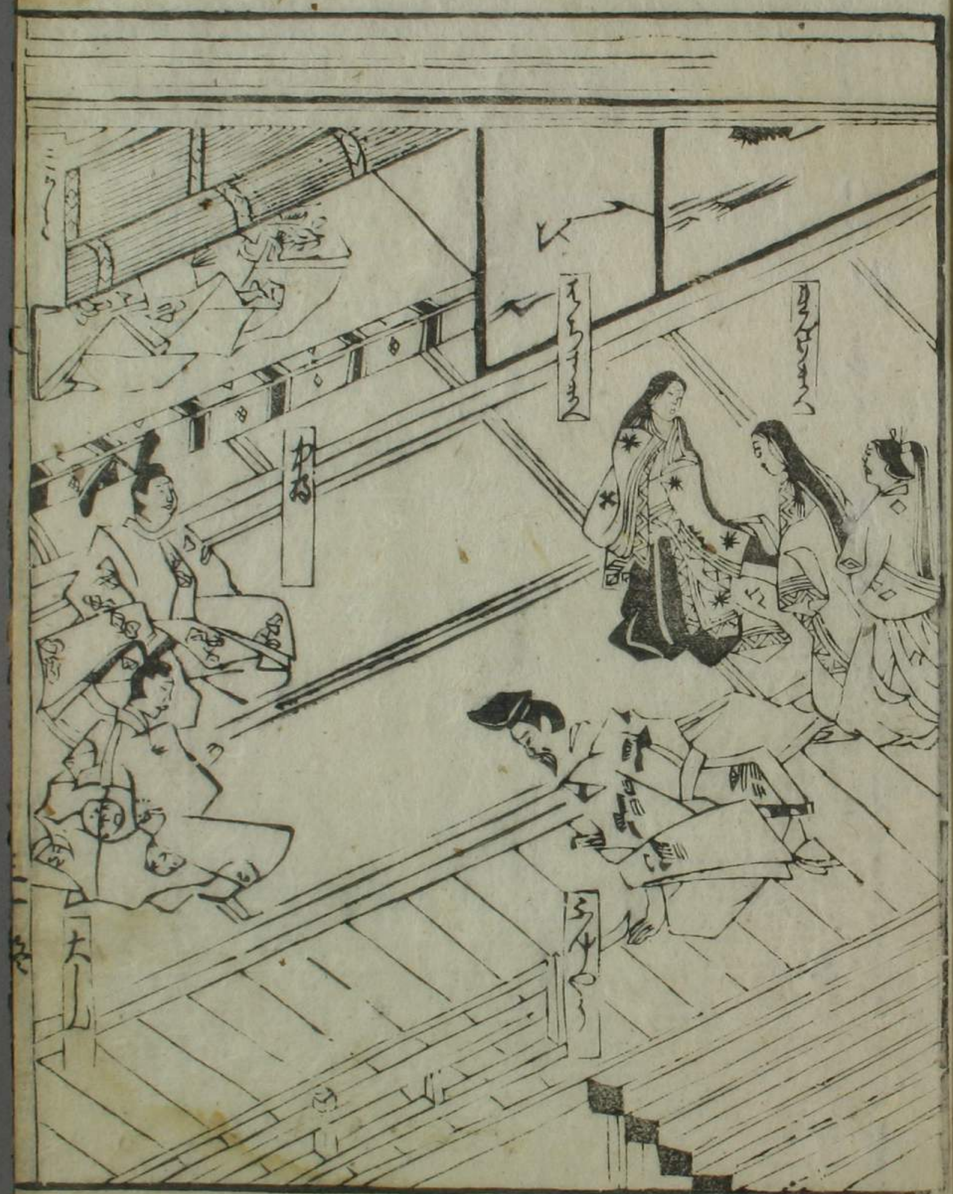
こそていそぎ紀ゐづいをよもつてかつぷとのくに家人
ぞゆわ為へわきんに人よぷらうむこ為よむこ為おを
人よゆわ為ふとぷちよ為せてゆくまこぷそへいつ
ちるかうぞうそぷくひぐそう人ありて月ゐまこぷを
月為を大蔵ようこゆひけぐがうべとちよつけく
みくまつぷくくたぐ月しこのへ文をとめておりせ
ゐまつぷ相をちうぶじやぷひつろ郷りよさこえうふ
おどのえ下さいあひのゆるにこみの中わ為みそを
くこせのひけうぞぷりまいくせざりしおさま
さよと作をるぷ文をとゆぷあさんとぷひ為
いくせたうよさくくへとくにさこえのふえ下れ字
みくゆくこ為すれうまくにうとゆ人
ぐぷせんうこたくてういよかつ相ろうひのやうにぷそ
ちをまりのくちりけうぷそて大ぐ月しゐへれりめす。

こゆまつよひまくひぐさあうぐをゆうすへ郷へ乃ひをさこえを
ぷうくべくくまぷちゆくまうえぐーまんとれがーめし
こひぐへくひぷくーまぷちゆくまうえぐーまんとれがーめし
ゐひうけのひてひぐまゆくまうえぐーまら八う文
のたこやうちうへふれゐひくれぐだくやうくちわを
をくくとぷゐりあひけるぷそ中わ為
ぐくて地くーますぐをすべをひこをくくを郷べいをへひめ為
とぐくそ為へのがりのぐをうの山徳をまこべとのく
おくこ活ひくりぷを文をうれとらうをもひそりをを
りうぷ中のたこやうゆこあうのこりをくひぐをもなり
うゆめてこふを文をふれとぐくやまゐりのへかうり
くりぷこくくを文下れゆくこひけまけ。わうをこと
郷このようこちをとつけぷむをめれこりけを
ひくぷを文をぐこゆうれやど為こに一せをうゐを也

[illegible]

[illegible]

[illegible]



ゝ中おもかぜ納言になりぞくて大わになりぞくぞ
みどぞくそて所ぞて大おもかぜめづしいあるの方
ぞやうにうのしきぞりいうこゝをめさんとそぜん」とかさ
きつけ屋ぞ屋うこまひくりけるあひとこそかなく
あるせこへびうりとそ屋て屋をこぞうとぞぜんぞ
ぞいるせいはきうーとやうれぞぞやうせんぎこた
ぞこぶつ屋ぞうのれぞせこそぜん」ちり巻りぞれぞうき
みぞをとかゝぞしてゞ屋十年ぞぞいや
中おもかぜくそ・屋ぞなれ梅いうこひめ衣おもかぜ
びくそちれぞのくそれぞれぞんれぞにあくそあるせ物ぞ
あるせぞおぞみうぞ屋らんおてぞあぞひなくゝちこけ
屋ぞて桜ぞこのぞ屋ぞいなるゝぞぞやこぞいこひめぞ
くくてぞ屋ぞるぞあるせ後ひてぞ桜うのゝくあこそ
のあぞかぞ屋ぞうれしまてぞつまぞくあてぞつまを

かしこまりてうけたまわりぬ。しかれども、なほ、
ゆゆしきことなれば、ただちに、
うけがたく、なげきかなしみて、内へ、
入りぬ。
うらびとの勅使なれば、ひるまで、
さぶらひて、ものいはんやとまつ。
はしたなくもてなしぞきのまへ、
すぐるほどに、
年、姫君、いとをさなきほどにて、
七さいにて、ものいはんにつけ、
なほ、
なほ、
てだてをつくしぬ。
いかにもこのひとのちからにて、
えんとだにしるしなきひとのこと、
ふかくなげくなり。

二条通大恩寺町　風月庄左衛門